

## 2016年度 第2回自治体学会 評議員会 議事録

日時：2017年3月4日（土） 14時～15時20分  
場所：東京大学駒場リサーチキャンパス4号館2F講堂

### [審議事項]

冒頭、事務局から本日の出席者28名、委任状10名であり、本会議は有効に成立している旨発言があった。

（最終的には、遅参者を含め出席者32名、委任状10名での計42名が出席。他に評議員以外の理事2名（地域支援部会長、総務部会長）及び監事2名が出席したほか、傍聴者1名、事務局2名が会議に出席）

議案の審議に先立ち、出席者から自己紹介が行われた。

### (1)「第1号議案 2016年度事業報告（案）」及び「第2号議案 2016年度予算執行見込み」について

両案は一括して議題とされ、事務局から説明が行われた。

・昨年10月29日に岡山自治体フォーラムを開催した。新入会員の2名の獲得にもつながり、結果は学会誌にもご報告する予定である。1点質問であるが、記録集の作成を考えているが、記録集について申請すると地域活動支援費等で認めてもらえるのか（中国ブロック小西評議員）。

・事業企画費予算には計上していないが、この予算の範囲内で認めることは可能と思う。理事会で詰めていきたいので、どのようなものになるのかまた教えてもらいたい（発知地域支援部会長）。

その後、両議案とも原案通り会場から異議なく承認された。

### (2)「第3号議案 2017年度事業計画（案）」及び「第4号議案 2017年度予算（案）」について

両案は一括して議題とされ、事務局から説明が行われた。

・会場について、山梨県と山梨学院大学の協定に基づいて開催することになる。大学には600人入れる場所は1か所しかないが、そこで開催するため、大学のローカルガバナンス研究センターとのタイアップで大会を行うことにつき御了承願いたい（江藤評議員）。

この提案について、まず、会場から異議なく了承された。

その後、了承された提案も含め、両議案とも原案通り会場から異議なく承認された。

(3) 「第5号議案 評議員等に対する旅費等の支出基準（改正案）」について

議案につき、青山総務部会長から説明が行われた。質疑はなく、議案は原案通り会場から異議なく了承された。

[報告事項]

(1) 会費滞納会員の退会について

3年間会費を滞納している会員について督促を行った上今年度末までに支払いがなければ退会となる旨の報告が事務局からなされた。加えて青山総務部会長から、退会者数については、年度末まで支払いがあればこの人数よりは減るなど、数字は流動的である旨の説明がなされた。

(2) 山梨甲府大会（仮称）について

企画部会竹見副部会長から大会の準備について、概ね例年通りのペースで進めているとの報告がなされた。また、プレ大会は5月13日頃を予定されているとのことであった。

(3) 各部会の事業予定について

(地域支援部会) 講演会は5か所開催したところ。今後やってみたいところを募集中である。特に最近開催していない地域でぜひお願いしたい。岡崎先生の集中講義を今回は少人数で開催した。今後は遠野、内子、福井、近畿で開催予定である。

(編集部会) 自治体学 30-2号を4月半ばメドに発刊すべく作成中である。特集は人口ビジョンと熊本地震。2017年度も2回発行の予定。現在自治体学の送付に使用しているメール便では会費納入の依頼を一緒に送ることができないため、発行の時期については4月にこだわることもない考える。

(研究支援部会) 部会では、公募論文の審査を行っている。後期は応募が12件と増え、うち2件を研究ノートとして掲載予定。査読はテーマごとにふさわしい会員の中から2名お願いしているところ。

(総務部会) 本日もオフ会を開催した。会員名簿のクラウド化を行い、名簿の精査を行っているところ。また、学会HPの運用方針の整備やFacebookの活用に取り組んでいきたい。年度替わりに自治体職員は異動が多いと思うが学会HPに書式があるので、異動等があった場合にはぜひ提出してほしいと考えている。

(学会賞選考委員会) 例年と同じ形で実施。昨年は学会論文賞の該当がなかったが、学会員の活動の励みになるものの応募を期待している。田村明まちづくり賞は、非会員でも対象なので、自薦他薦問わずぜひ推薦をお願いしたい。

(4) 2018年度大会の開催地について

西村理事長から2018年度大会の開催地について、青森県から開催の了承を得たとの報告があった。

(文責松本)